【参考資料6】協議会メンバーのみなさまへの事前アンケート結果

①提示の学校配置の考え方に示したものを踏まえて、検討すべき配置・規模・制度・通学方法などの案があれば教えてください。	
回答1	現状は、通学への不安、児童数が大きく減少しないこと、校舎が比較的新しいことから、現状維持が望ましい。 将来的には、児童数の減少や校舎の老朽化を踏まえ、小中学校の統合や市街地への統合も検討する。 それに伴い小規模特認校や義務教育学校の導入についても検討する。 地域の小中学校を活用し、最小限の職員を配置して、オンライン授業を受ける仕組みも検討。 毎年状況を確認し、現状維持か統合かを継続的に話し合う。
回答2	義務教育学校として、市街地に２校、郊外の東西に小規模特認校をそれぞれ配置、通学方法はスクールバスとして、マイクロバスやワゴン車等通学人数により使い分ける。
回答3	私は通学の時間等を考慮したとしても、東西にそのまま1校ずつ、市街校を2つかなと思っております。 東西は特認校で、市内に行きたい子は選択できるようにすると良いかなと。 実際に西が丘小学校に行かせていただいて、お天気の良くない日だったので自宅から直接行っても40分くらいかかってしまいました。 バスだともっとかかるだろうと思い、小学生の体力等を考えると通学はできないなと思ってしまいました。
回答4	人口減少が不可避である以上、歳入も減ることを鑑みてできるだけ低予算で効果的な手を打つ必要がある。市内で２校、呼人で１校となると、東地区（藻琴エリア）と西地区（卯原内エリア）の広大な校外エリアの通学時間が増大し、呼人地区との違いは何なのかという疑問が生じる。校外エリアの通学はバスが主体となるだろうが、東と西は呼人と同じ枠組みにした方がいいと思う。市内２校に集約するなら校外校（呼人）もなくして市内２校体制のみにした方がいいのではないか。むしろ藻琴や卯原内より呼人の方が市内に近いのに、何故東と西のエリアは学校がないのか、ということにならないか。その辺の整合性が問われる気がする。呼人と網走市内は将来高規格道路も予定されているので、なおさらである。
回答5	児童生徒、保護者の負担ができるだけ増えない対応や配置が重要。東部・西部に関しては、児童生徒数や学校の老朽化の状況等も踏まえ小中一貫教育も前向きに検討しても良いと感じる。
回答6	いずれ人口減少に伴い学校を運営していくのに対して厳しいのであれば、自分達の代で解決に向かう方向性を示さないと自分達の子供世代に問題を持ち越してしまう事だけは避けたい。理想と現実は難しいのかもしれないが少しでも有意義な義務教育の時間を子供達に過ごして貰って、網走に産まれて育って良かったと思える人が増えたら素晴らしいと思う。通学に関しては、現在もバスを利用している人が少ないので、スクールバスではなく、路線バスの時間帯を変更して両面での使用を検討すべき。自分は小学生2～5年の間、バス通学を経験した。酔っ払い等も居たが、それを見て、あーはなりたくないと心に誓った。人生の勉強になった。時代は違うけれど、人との関わりはとても重要だと思われます。

②お住いの地域として、特に配慮してほしい条件・要望があれば教えてください。	
回答1	中心市街地に住んでいますが、むしろ中心市街地も２校に挟まれた学校空白地になりそうなので、スクールバスが必要と考える。
回答2	私は特にありません。子供たちが通学するのに無理なく通えるのであれば良いと思います。
回答3	スクールバスの充実、親の負担軽減の他にも朝夕の向陽ヶ丘へ上る道の渋滞緩和にもつながると考えます。 大曲地区が横に長いこともあり、スクールバスの乗り降りする場所を2～3か所にしてほしい。
回答4	現状では統合の必要はないが、将来的に市街地へ統合する可能性を見据え、受け入れ可能な施設規模の確保が必要。
回答5	通学等、児童生徒や保護者の負担軽減と通学の安全面。
回答6	交通安全には十分気をつけて欲しい。児童の啓蒙活動も重要だが、歩いて通学児童が安心して通えるようにインフラ整備を早急に対策して貰いたい

③今後、具体的な再編パターンを比較する際、必要だと思う情報があれば教えてください。（第5回目以降の資料として検討します。）	
回答1	再編前と再編後の授業内容の良い変更点や子供たちの様子・変化の情報が欲しいです。また再編後の学校跡地の使用例（再利用または取り壊して新しい建物を建てた場合両方）の成功例があれば知りたいです。
回答2	改めて、 小中学校の児童・生徒数の推移。 小中学校の校舎の老朽化状況と、修繕・統合にかかる費用。 中学校が教育環境を維持できる生徒数の目安についての情報。 義務教育学校・小規模特認校制度について、仕組みやメリット・デメリットを含め、詳しい説明と具体的な目的。 教育DX化・オンライン授業の推進方針と、それに伴う学校の役割・位置付けの将来ビジョン。
回答3	再編後のスクールバスの順路予想と、その場合のタイムテーブルがあると、実際の通学時間や経路など、イメージしやすいと思われる。その場合、学校の位置も示さないとならないが、土地も少ない網走市ですから、おおよその位置（半径数百メートル）を基点とする。 網走市の人口推計、各学校のクラスの規模に対する人数とクラス数を５年ごとで２０５０年くらいまでの予想推移がみられるとベターである。
回答4	今までご提示頂いたもので、その他特に必要と思うものはすみませんが思いつきません。
回答5	
回答6	現在考えられる未就学児の人数の確認と予測 路線バスとスクールバスの併用の場合に対しての補助金の違い コンパクトシティを目指していくのはどうだろうか。スクールバスを減らす為、除雪費用減らす為にも元市営住宅だった空き地を僻地に住まわれる方に[ほぼ無償]で提供して引っ越しして貰う。その他、実践してくれた市民に対しての免税措置や補助金を出す等、思い切った方向に舵を切らなければ30年後の網走が見えてこない。つまり、現在の子供達の他地域への人口流出は免れないのではないだろうか。

④その他（自由記述）	
回答1	まずは、通うのは子供たちなので、毎日通うのに必要以上の負担がないように考えていきたいと思っております。 私自身転校生でしたので、学校まで徒歩2分の所に住んでいた期間や、徒歩で30分くらいかかる学校に通っていた期間もありましたが、やはり遠い学校だと早く出ないといけないから、早起きしないといけないなど辛い思いをした記憶があります。(お天気が良くないと特に行きたくないなぁ、、なんて思ったりしたことも) バスで30分～40分、歩いてないからいいじゃないか！と思う人もたくさんいるかもしれませんが、大人でさえお仕事に30分～40分乗り物に揺られていくと疲れがたまると思うので、そのような思いをたくさんの小学生の子達にしてもらいたくないなという気持ちしかありません。 上手くかけずすみません。
回答2	冬期のスクールバス通学者の待合所を、吹雪などによる荒天や異常低温による低体温症や凍傷から守るため、屋根と壁がついたものにして児童を守る事も必要と思う。
回答3	今回の意見は西部地区の話のみです。
回答4	西小が最初の再編の方向ということもあり、西小跡地の利用の仕方が今後の再編に、より希望がもてるような使い方をしてほしい。 例えば、学校跡地ということから、校章等のモニュメントや防災機能を残した、起業を考えている方や自宅で作成しネット販売しているような方等が、色々なチャレンジができるレンタルスペースが良いのではないでしょうか。 キッチンが備わっていれば、地域食堂や不定期とはいえ飲食店も可能になります。 ３階建て、屋上、備蓄庫が備わっていれば、津波避難タワーが無くても災害時の避難先にもなります。 この委員会で検討する内容では無いのかもしれませんが、こういった意見があるといった引き継ぎをお願いします。